



## Q 小岩井地区に小学校を

川原 清 議員

## A 現状の生徒数では無理

村内小学校の児童数と学級数の推移

学校名		H14.4	H15.4	H16.4	H17.4
篠木小学校	児童数	395	408	428	432
	学級数	13	13	13	13
滝沢小学校	児童数	909	885	864	858
	学級数	26	25	25	25
滝沢第二小学校	児童数	673	665	624	596
	学級数	21	21	21	20
鵜飼小学校	児童数	805	807	786	794
	学級数	24	24	25	26
一本木小学校	児童数	154	157	157	158
	学級数	6	6	6	6
姥屋敷小学校	児童数	20	21	21	21
	学級数	3	3	3	3
滝沢小学校	児童数	50	49	50	49
	学級数	6	5	5	4
滝沢東小学校	児童数	470	450	421	406
	学級数	15	13	12	12
計	児童数	3,476	3,442	3,351	3,314
	学級数	114	110	110	109

**Q1** 小岩井地区から篠木小学校へ144名の児童が電車通学をしている。地区への小学校設置の展望はあるのか。

県内唯一の電車通学地域である。県内で144名以下の小学校は273校・61%ある。学区の編成替えて設置可能ではないが何う。

**A1** 小学校の標準学級数は12〜18学級です。現在ではその基準を満たしておりません。学区編成替えを行なえば篠木小学校がその基準を欠くこととなります。

**Q2** 国勢調査のプライバシーは

10月1日に国勢調査が実施されるが4月から個人情報保護法が施行され、その下で初めての国勢調査です。調査にあたっては。

①プライバシーの保護については最優先をせよ。

②これまでの国勢調査ではどのような苦情が寄せられているのか。

③封入提出が認められているので周知をし、郵送提出も認めよ。

**A2** ①調査員は非常勤公務員の身分で公務員法や統計法で秘密の保護、調査票の適正管理などが義務づけられておりプライバシーの保護は周知徹底します。

②これまでの調査で苦情が多いのは調査員の対応の悪さや調査票の配布漏れ、封入提出に関するものです。

③封入提出は認められておりますので調査員に周知します。

郵送提出は回収できない恐れがあります。

### 携帯電話の不通地域は

**Q3** 携帯電話の普及で公衆電話があるが、村内の不通地域の実態とその解消策を伺いたい。

**A3** 柳沢・姥屋敷の一部などが不通話地域になります。携帯電話参入企業も不通話地域の縮小に努めているようすです。